



水谷怜南さん

地域のできごと まちのほっとフォト

📷は、市民リポーターが取材・撮影しました
(14人が登録しています)

長岡技術科学大学で、教職員の子どもたちが学生ボランティアと過ごす「学内一時託児」を行いました。子どもたちは、機械に囲まれた工作センターの見学など、工学系大学ならではのメニューを体験。「パパママの職場ってすごい!」。(8月7日) 📷

潮風に 爽快感



寺泊地域と友好親善都市・群馬県伊勢崎市の小学生によるマリンスポーツ交流会を開催。爽やかな風が吹く中、参加者は寺泊の海を満喫しました。(7月27日)

一緒に食べる と楽しいね

中之島地域で初の子ども食堂がオープンしました。愛情たっぷりのメニューを前に、笑顔がこぼれる子どもたち。ワイワイ会話を弾ませながら、きれいに完食しました。(7月20日) 📷



井口庸一さん



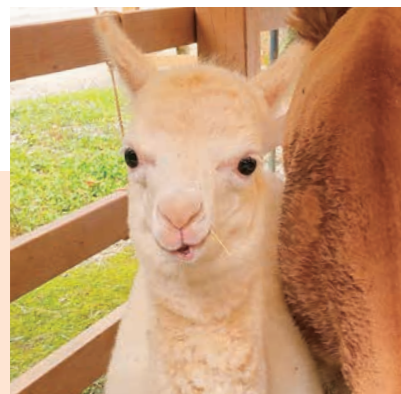
山古志地域の住民が、歌で東日本大震災からの復興を後押ししてきた福島県の合唱団と交流しました。全国の被災地で多くの人を勇気づけた歌声を合唱団が披露すると、会場は感動に包まれました。(8月10日) 📷外川正明さん

音楽で絆深まる



優勝狙い、白熱のバトル

水鉄砲で相手の頭にある的を目掛けて水をかける川口まつりの名物イベント・水合戦。今年も豪華賞品の獲得を目指し、子どもも大人もずぶ濡れになりながら熱い戦いを繰り広げました。(7月28日)



Instagramから #ほっとフォト長岡

ハッシュタグ「#ほっとフォト長岡」を付けて投稿された写真を紹介します。山古志アルパカ牧場 (投稿者・nekosanrunさん)

投稿募集中

詳しくは市公式 Instagramで



恒久平和へ 想い新たに

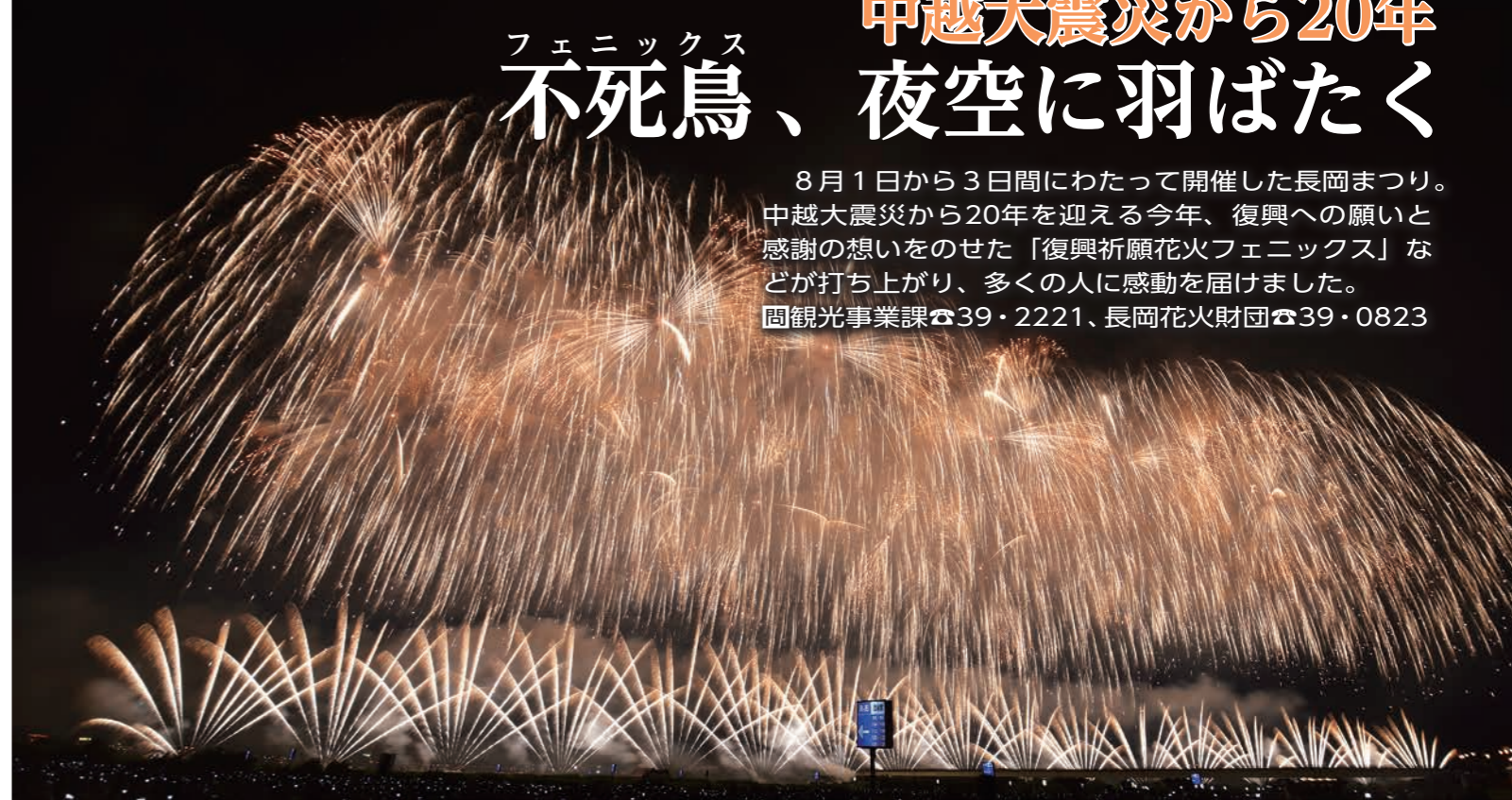


1,488人も尊い命が失われた長岡空襲から79年。慰霊の想いなどを込めて開催した平和祭には4万9千人が参加。祈念式典や灯籠流しなどを通して、平和への想いを新たにしました。



中越大震災から20年 不死鳥、夜空に羽ばたく

8月1日から3日間にわたって開催した長岡まつり。中越大震災から20年を迎える今年、復興への願いと感謝の想いをのせた「復興祈願花火フェニックス」などが打ち上がり、多くの人に感動を届けました。問観光事業課☎39・2221、長岡花火財団☎39・0823



全国から 観覧客集まる



金・土曜日の週末開催となったこともあり、約34万人分の観覧チケットが完売した大花火大会。誘導員などのスタッフを延べ約4,400人配置し、来場者の安全を確保しました。



能登にエールを送る花火



1月1日に発生した能登半島地震の被災者に向けて、元気と勇気を送る特別版の花火を打ち上げました。豊田小学校とオンラインで交流する石川県七尾市・小丸山小学校では大花火大会の上映会が開かれ、大いに盛り上がりました。



Instagramフォド投稿キャンペーン
投稿者・kazumin8008さん